

園 だより

2026年2月1日

社会福祉法人
緑の丘福祉会
ののかぜ保育園

冬の自然を満喫し元気に遊ぼう！！



こま、カルタ、すごろく、けん玉、凧あげなど

冬ならではの伝承遊びを楽しもう！！

進級に向けて保育交流を行って行こう！



2月の予定

1	日		10	火		19	木	
2	月		11	水		20	金	給食部会
3	火	節分	12	木	避難訓練・経営部会	21	土	
4	水	職員会・よいこのつどい(さくら)	13	金	見てみて展覧会	22	日	
5	木	職員会・保育部会・区懇談	14	土	見てみて展覧会	23	月	
6	金		15	日		24	火	幹事会
7	土		16	月		25	水	職員会
8	日	あい共連法人交流会	17	火	給食部会 ほいくまつり(さくら)	26	木	誕生会・保健部会会 運営委員会
9	月		18	水		27	金	入園説明会
						28	土	

お知らせ

★3月23日（月）新年度準備のため、ご家庭での保育協力をお願いします。

この日職員は、元のクラスの片づけや掃除、そして新しいクラスの準備等を行い、翌日の進級式を迎える準備をします。

ご迷惑をおかけしますがご家庭での保育協力をよろしくお願い致します。

★2月から本部職員の寺坂保育士がののかぜ保育園事務室で勤務になる日があります。宜しくお願い致します。



ののかぜにお獅子現る

1月15日、ののかぜ保育園で恒例となった“獅子舞の会”が開かれました。例年見ている幼児クラスの大きい子たちは、獅子舞が始まると、ドキドキしながらも、お獅子が舞う演技を楽しみながら見ていました。一方、ホールで初めて演技を見たたんぽぽ・すみれ組の子どもたちは、“こわい～”と言いながら職員にくつついたり、泣いたり、顔を隠したり。それぞれの姿で会に参加していました。演技の後に、お獅子に頭を噛んでもらいました。子どもたちは、少しドキドキしながら、1年間元気に無事に過ごすことが出来るよう願い、すみれ・幼児と、順々に頭を噛んでもらいました。つくし組は、ホールの外から興味深そうに見ていましたよ。

その後、乳児棟に練り歩きに行きました。たんぽぽ・れんげの前を通過すると、キャーキャー言つて職員の所へ逃げていました。つくしさんも部屋に入った途端、「なんだこれは！」と危機感を感じたのか、職員にしがみついていましたが、泣き声は元気いっぱい！！1年みんな元気に過ごせますように、、、。

2月3日は節分があります。新しい季節が始まり、邪氣や悪いものを落として、幸運を呼び込むとされる節分の行事を楽しみたいですね。子どもたちは“鬼”的登場が恐怖の様ですが…。今年度はどんな姿を見せてくれるか楽しみです。幼児さんは力を合わせて退治をするため意気込んでいますよ。



命のはなし

子どもたちに、命が産まれてくることの素晴らしさと、その命を大切にしてほしいという思いから、例年、助産師の山形さん（どんぐり保育園OB）に保育園に来てもらい、「命のはなし」を5歳児さくらさんたちを対象に行っています。今年度は、つくしの是沢あおくんのお母さんに来てもらい、本物の心音を聞く機会もありました。とても貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます。子どもたちは、心音を聞くと、「ドクドクって言ってる」「あおくんのおかあさんあかちゃんがいるの？」と興味津々でした。

あかちゃんが生まれてくるまでの話いや、はがき大の黒画用紙に針で穴をあけたものが手渡され、「この小さな穴、何かわかる？自分の最初の体の大きさだよ」と教えてもらうと「え～！？」と驚いている子どもたちでした。そして、このあかちゃんが少しずつ大きく、そして重くなっていく実物大のモデルを見せてもらいながら、実際に抱っこし、あかちゃんの重さを感じとっていた子どもたちでした。

子どもたちは、“あかちゃんってペットボトルの重さなんだ”“ぼくは、3キロはないって言ってた”など感想を出し合っていました。家に帰ってから、親子で生まれてきた時のことなど話しあった様です。山形さんから、「親子で話ができる感想を読むと、本当によかったですなあと思います。お子さんの中に何かしら一つでも残ってくれると嬉しいなあと思います。」というお返事を頂きました。

/// 山形さんから子どもたちへのメッセージ ///

- ・一人ひとり、待ち望まれて生まれてきた世界でたった一つの大切な宝物である。
- ・お母さんのおなかの中で10ヶ月いて、頑張って生まれて来たこと。
- ・命を大切にすること。それは自分自身を大切にすること。
- ・まわりの人のことも大切にすること。